

長野北高校・柏原東高校の存続を求めます

大阪府教育委員会は9月1日、「府立長野北高校、府立柏原東高校を平成31年度から募集停止する」との案を発表、「様々な意見を踏まえて11月に決定する」としました。しかし、これには何の道理もありません。2つの学校は、生徒の成長の場として大切な役割を果たしており、なくしてしまえば地域の子どもの「学ぶ権利」が奪われます。

公立高校の「定員」はゆとりがあって当たり前！ 高校つぶしなんてひどすぎます

募集停止案の背景には、維新の会主導でつくられた「府立学校条例」の「3年連続して志願者が定員に満たない高校は再編整備の対象」との規定があります。しかし、そもそも子どもたちの「学ぶ権利」を保障するために設置されている公立高校の「定員」にゆとりがあるのは当たり前。全国には「毎年公立高校の半分以上が定員割れ」というところもありますが、「廃校にする」などの異常な対応は見られません。

理不尽な条例は抜本的に見直し、高校つぶしは撤回すべきです。

毎年200人を超える生徒が入学している学校をなくしたら地域はどうなるの!?

「3年連続で定員に満たない」と言っても、長野北高校の2016年度の入学者は237名で「定員」に3名足りないだけ、柏原東高校の2015年度の入学者は231名で9名足りないだけです。両校には毎年200名以上の生徒が入学し、地域の学校として大切な役割を果たしています。同じく大阪府の南東部に位置する両校がなくなれば、近くに通える高校がなくなる子どもたちが多数生み出されます。

	年度	2013	2014	2015	2016	2017
柏原東	入学者	240	240	231	217	222
	定員のゆとり	0	0	9	23	18
長野北	入学者	240	240	227	237	211
	定員のゆとり	0	0	13	3	29

道
理
の
な
い
高
校
つ
ぶ
し
は
撤
回
を
!

「**学
ぶ
権
利**」
を
奪
わ
な
い
で



あなたも署名にご協力下さい！

「大阪の高校を守る会」の署名用紙は、
府高教のホームページ <http://www.fukokyo.org/> からダウンロードできます。

生徒・卒業生、保護者、地域の大反対を無視し、 この3年ですでに4つの 府立高校が廃校に!

大阪府教育委員会は、2014年から府立学校条例と再編整備計画に基づく高校つぶしを強行し、すでに4つの府立高校の廃校に向けた募集停止が決定されました。これに対して、広範な府民から反対の声があがり、3年間にのべ8万人の署名が提出されています。府民の願いを踏みにじる高校つぶしは許せません。

大切な学校を なくさないで!

「中学時代不登校でこの学校しか行けないと言われた。でも、そこで丁寧に指導してもらい大学にも行けた。この学校があったから、今の自分がある。大切な学校をなくさないで欲しい」
(咲洲高校の卒業生)

「息子はこの学校で見違えるほど成長した。ところが知事は『魅力のない学校で定員にも満たずその学校に通うことは生徒自身の成長につながらない』と言った。事実を見ない無責任な発言は絶対に許せない」
(西淀川高校の保護者)

西淀川高校
(2017年度募集停止)

咲洲高校
(2016年度募集停止)

池田北高校
(2016年度募集停止)

大正高校
(2018年度募集停止)

柏原東高校

長野北高校

大阪市立高校でも
3校を統廃合
する計画が!



近くに行ける
高校が
なくなる!

高校つぶしではなく「少子化」をチャンスに 教育条件の改善こそ行うべき

大阪の府立高校は、1校あたりのクラス数が多く、全国から突出して大規模となっています。学校によっては「少人数展開のための教室が足りない」などの声も上がっています。

また、大阪では、ごく一部を除いて1クラスの生徒数は40人と決められています。全国では、自治体の努力で高校も38人学級や35人学級が広がっています。

「少子化」で生徒数が減っている今こそ、高校をつぶすのではなく、過大となっている学校規模の縮小、少人数学級の実施など、教育条件の改善で、一人ひとりにより行き届いた教育を実現すべきです。

